

2011年6月14日

小さなテントで一人のSさん

Le Beau Jean

数年間、毎週木曜に炊出しをやって、毎週Sさんのテントにおにぎりを配っていました。一人しか泊まれない小さなテントからSさんが顔を出して、無口でただ頭を下げておにぎりをもらいます、その後、黙って自分の自転車に乗って一人で去って行きました。

口を聞かない人かなと思っていました、Sさんの輝いた目を見るといつも、話ができる機会があったら、声をかけようと思っていました。

或る日の木曜日にSさんがみんなと一緒に並んでいて相変わらず、無口で下向いて、いつもの姿でした。私が良く彼の様子を見ると、歩き方がおかしいと思いました。

Sさんのところに寄って行き、足はどうしたのと聞く。その時初めて、Sさんの声を聞きました。足に水虫が出来ました。ずーっと我慢をしてひどくなると、私に足を見せながら伝えてきました。じゃー明日の午前中皮膚科の先生が来るのでぜひ医者に見せに来るように山友会に来ないと言いました。Sさんがびっくりした顔をして、僕も山友会のクリニックにいったよいですか？ もちろん、あした俺も待ってるよと答えました。

次の日、山友会がオープンする前にSさんが山友会入り口の前に来ていました。

あれから、毎週木曜日にSさんのテントに行っておにぎりを渡しながら。調子はどうと、薬はあるか、なくなる前に山友会に来てね。など、やっと、Sさんと会話が出来ました。

数週間後、Sさんがいきなり山友会に姿を見せた。事情を聞くと、胸にできものができて、膿までがでると訴えました。また我慢をして化膿してしまったのでしょうか。

あわてて、山友会の医者に見せて、紹介状を書いてもらい、そのまま役所に行かせました。Sさんが一人で役所に行けるか心配でした。数時間後またSさんが山友会にあらわれた、やはりだめかと思って聞いてみると、Sさんはちゃんと一人で、役所に行って病院を紹介してもらって治療を受けて薬をもらって、寮まで紹介してもらってました。Sさんは頭を下げて、本当にどうもありがとうございますと、震えた声で、伝えてくれました。

数年間かかりましたが、Sさんに小さな希望を持って、今までよりもずっと元気になってもらい、力を合わせてがんばって行く、Sさんの姿をずーっと見せていただきたい。

そう思ってます。